

知財人財育成研究分科会セッション

◆ なぜ、知財部門のプロパーから取締役が生まれないのか？ ◆

～経営を担う人財育成について考える～

【概要】

なぜ、知財部門プロパー（生え抜き）から経営者（取締役）が生まれないのか？

今回は、この微妙なテーマに人財育成の観点から取り組んでみることにしました。

確かに近年、大手企業においては知財部門を管掌する役員はいるようになりました。また、執行役員や理事レベルの知財部門長も増加しています。しかし、知財分野のプロパーから企業経営者である「取締役」に就任する人は極めて少数です。それは、本人が経営に意欲がないせいなのか、それとも能力的に難しいのか、あるいは…等々、いろいろありそうです。

この、「実は聞きたいけれど、微妙すぎていささか話を躊躇するテーマ」に今回挑戦することにしました。

幸い、このテーマでお話していただける「知財部門生え抜きで、取締役として経営の一翼を担う方」をお迎えできることになりました。どんな話が展開されるのか、ライブのトークセッションを是非ご期待下さい。

なお、この分科会は、答えを出すものではなく、問題提起のセッションです。学会らしい「気づき」と「学び」の場、次を「考える」場と機会になれば幸いです。（文責：妹尾堅一郎）

<トークセッション>

地曳慶一（じびき けいいち）

【貝印(株) 取締役 上席執行役員 知財・法務本部長 CIPD 兼 CLO】

大手日用品メーカーにて約23年間、知財・法務の担当、部門長職を経験後、2018年4月に同社へ転職、2022年6月より現職。2002年米国ワシントン大学ロースクール IP LL.M.

主な活動：経産省・特許庁委員会へ多数参加。日本知的財産協会、日本知財学会、ライセンス協会、各大学院など登壇多数。2019年より知的財産教育協会シニア知的財産アナリスト認定審査員。放送大学神奈川センター非常勤講師。女子美術大学非常勤講師。

妹尾堅一郎（せのお けんいちろう）【本分科会担当主査、NPO法人 産学連携推進機構 理事長】

慶應義塾大学経済学部卒業後、富士写真フイルム(株)勤務を経て、英国国立ランカスター大学経営大学院博士課程満期退学。産能大学助教授、慶應義塾大学大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、九州大学、一橋大学大学院MBA、長野県農業大学校等の客員教授を歴任。現在も東京大学で大学院生や社会人を指導。また企業研修やコンサルを通じてイノベーション、ビジネスモデル、新規事業開発等の指導を行っている。

前日本知財学会理事。CIEC（コンピュータ利用教育学会）終身会員（元会長）。研究・イノベーション学会参与（元副会長）。

内閣知的財産戦略本部専門調査会会長、農水省技術会議委員、警察庁政策評価研究員等を歴任して、現在も省庁や公的機関に関わると共に複数企業の社外取締役を兼務。著訳書多数。

<総合司会>

横田俊一（本分科会幹事長、ペプチドリーム株式会社）